就活中&職場で使うアサーション

～自分も相手も大切にできるコミュニケーション術～

1

知って得する！「アサーション」

- アサーション: 自己主張の事
- 自分も相手も大切にしたいコミュニケーションが「アサーション」
- 誤解なく「伝えたいことが伝わる」コミュニケーション

2

(例)
スーパーのレジに割り込んできた人がいる！

- ちょっと！ずうずうしいわねッ
- (にらむが、何も言わない。イライラ。)
- 皆並んでいますよ。最後尾はあちらですよ。

3

- **アグレッシブ:**
自分はスッキリするかもしれないが、相手にはキチンと伝わらない。
相手にも事情があるかも？怖がられてしまうことも。
- **ノンアサーティブ:**
我慢してモヤモヤ。恨みがましい気持ちになる。たまるとドッカーンと
爆発、アグレッシブになることも。
- **アサーティブ:**
対等、簡潔(回りくどくない)、自己責任(言う、言わないを選択したのは自分)。爽やかなコミュニケーション

どのコミュニケーションを多く使っていますか？
職場では？友達や家族には？変えたいことはありますか？

4

<アサーションを活用したコミュニケーション>

- ① アイ（I）メッセージの活用
- ② Noと言ってみよう
- ③ 相手に伝わる4ステップで整理しよう

5

① I(アイ)メッセージ

Youメッセージだと、相手は攻撃されていると感じ、自分を守ろうとする。
自分の思いや気持ちを伝える<Iメッセージ>の方が相手にとって受け止めやすい。

× 1週間以内に連絡くれるはずでしたね？

○(私は)1週間以内にご連絡いただけると思って、お待ちしていました。

X どうして雇用契約書をもらえないんですか。

○(私は)口頭では伺いましたが、念の為、雇用契約書を頂きたいのですが。

X 正社員になる道もあるって聞いてたけど、違うんですか？

→ アイメッセージにしてみると？

6

② Noと言ってみよう

あなたには自分を大切にして、Noをいう権利があります。
言い訳や嘘を言わなくても大丈夫。断って良いのです。

例) 友人から遅い時間に長電話
もう15分グチを聞いているけど長引きそう。
疲れている。。。もう切りたい。

アグレッシブ:
こんな時間に常識ないよね!

ノンアサーティブ:
(ああ。。。はじまっちゃった。。。泣)

アサーティブ:
もう12時だし、今日は疲れているので、これで切るね。

7

<練習>

職場で、プライベートなことをしつこく聞いてくる人がいる。
言いたくないのに。。。。

アグレッシブ:
しつこいなあ、いい加減にしてよッ

ノンアサーティブ;
問われるままに、答えて、後悔。。。

! Noを言ってみよう。!

8

③ 相手に伝わる4ステップ

- Step1. 事実を具体的に伝える
- Step2. 気持ちを伝える
- Step3. 提案、依頼、代替え案を伝える
- Step4. その結果を気持ちも含めて伝える

9

例1)引き止めて頂いたけど、転職を決意している

- X あなたに引き止める権利はないですよ！(アグレッシブ)
- X 言い出せずにタイミングを失って、恨みがましい気持ちになる(ノンアサーティブ)

- Step1. こちらで3年間、いろいろな業務を担当させて頂きました(事実)。それと、今年で50歳になります。
- Step2. これまでの経験に、とても感謝しています。でも年齢的に、焦りもあるんです。(気持ち)
- Step3. 今後のことを考えて正社員を目指して就活することにしたので、x月を目処に、退職させてください。(提案、依頼、代替え案)
- Step4. OK頂けたら、安心して、就活できます。引き継ぎも頑張れると思います。(その結果+気持ち)

10

例2)他部署から必要なデータが来ない

- X 午前中までって言ったじゃないですか！（アグレッシブ）
 X 。。。 (黙って我慢)、「お伝えしていなかったでしょうか(嫌味っぽく)」（ノンアサーティブ）

- Step1. お願いしていたデータ、締切は今日の午前中まででした。(事実)
 Step2. 明日の会議資料に必要なデータなので、間に合わなかったら、と心配しています(気持ち)
 Step3. 3時まで出して頂けますか(提案、依頼、代替え案)
 Step4. それならなんとか間に合いそうなので、安心できるのですが。(その結果+気持ち)

11

- ・「不安」「怒り」は私たちが自分を守るためにある大切な感情です。
- ・特に、何かの出来事で心が沈んでいる時や弱っている時、「自分を守らなくちゃ」と心は無意識に反応します。
- ・そんな時、必要以上に「相手は自分に敵意を持っているのでは？」「意地悪をしているのでは？」と捉えて攻撃的になったり逃げ腰になったりしがちです。

相手の方は、「そんなつもりはなかった」ということもあります。
 自分を守ろうとするあまり、物事をネガティブに捉えすぎないようにしましょう！！「鈍感力」も時には大切です。

12

こんな時には？

- 伝えることは勇気がいるので、我慢してしまった方が気が楽
- アサーティブに言ってみたら、関係が悪くなった
- ステップどおりにやってみたが、相手が譲らない